

防災会からのお知らせ

あなたの家の玄関ドアを確認してみましょう

先日、グリーンシティ近隣で戸建ての家が全焼する火災が発生しました。

火災は未然に防ぐことが一番大切です。しかし、もし不幸にして出火してしまったら初期の段階での適切な対応をとることにより、その後の被害の状況に大きく影響します。

暖房器具などの使用だけではなく、天ぷら火災や寝たばこ、放火等、火災発生には色々な原因があります。この機会に家族全員で防火について話し合うとともに、非常時の再確認をしてみましょう。

全住戸に災害時における役割分担を意識づけるため、玄関ドアにかわいいシールを貼付してあります。大人から子どもまで自分の役割がわかりやすいようにしています。

犬のマークの通報班、ライオンとお猿のマークの避難誘導班、象のマークの初期消火班の3班に大別されています。

災害時役割シール



通報班
グリーンシティ近隣地区



初期消火班
グリーンシティ近隣地区



初期消火班
グリーンシティ近隣地区



各担当の家庭は、以下の原則により行動しましょう。

《通報班》

- ・要救助者を救助する
- ・「119」番通報
- ・非常ベルを使用し、出火棟に警報を発する
- ・地区消防隊長（もしくは管理事務所）に火災発生および火災状況を通報する
- ・応援が必要（不要）であることを通報する
- ・初期消火が可能（不可能）であることを通報する
- ・避難誘導が必要（不要）であることを通報する
- ・グリーンシティ全体へ情報等を通報する

《避難誘導班》

- ・要救助者を救助する
- ・出火階、その直上階の住民を最優先に避難誘導する
- ・必要時に避難誘導範囲を適時広げてゆく
- ・要救助者の有無確認を行う
- ・エレベータを使用しないよう避難誘導する
- ・パニック現象を考えハンドマイク等で避難住民に対し適時情報提供を行う
- ・地区消防隊長に避難状況等を通報する

《初期消火班》

- ・要救助者を救助する
- ・消火器（各階廊下に設置）による初期消火にあたる
- ・11階以上にあっては、屋内消火栓で初期消火にあたる
- ・消防車両及び隊員を火災現場へ誘導する
- ・消防隊に火災延焼状況を通報する
- ・消防隊からの要請があれば支援する

屋内消火栓使用手順

1. ポンプ起動ボタンを押す
2. ホースを取り出し展張する
3. バルブを全開にする

町内チャンピオンマップを引き続き募集

しています。ひとりでも多くの方々のご登録をお願いします。

防災会がラジオに出演！！

2月25日（土）、毎日放送の「ネットワーク1・17」にラジオ出演しました。

短い時間でしたが、私たちの熱き思いの一部分を紹介できたのではないかと、思っております。メディアの力に驚くとともに、今後とも防災意識の高揚に努めたいと思っております。

当日の放送内容がグリーンネットで視聴できます。ぜひ、以下のURLにアクセスしてみてください。

http://www.greencity.gr.jp/greencity_bousaikai/html/radio_network117_0227.htm

防災井戸の設置について

マンション内に、防災井戸を設置します。

災害によるライフラインの断絶、および非常トイレ等の対策として準備したいと思います。災害時以外の活用方法については、皆さんの意見も参考に運営したいと思っています。

概算費用：200万円

内 容：井戸口径150mm

掘削深度約30m

ポンプで揚水

